

令和八年度 個別学力試験問題

(後期日程)

小論文

(一一〇分)

人文学類

注意

- 一、指示があるまで問題用紙を開かないこと。
- 二、問一と問二は別々の解答用紙に解答すること。
- 三、解答用紙上部にある細長い欄に、設問の番号を書くこと。
- 四、色のついた用紙は下書き用紙である。下書き用紙は初めに切り離すこと。
- 五、解答は日本語を用い、横書きで記入すること。

問題文は次のページからはじまります。

以下の文章を読み、各問に答えなさい。

(問1) 著者によれば、「文字による学問」を習得することの効用はどこにあるか、まとめなさい。(八百字以内)

(問2) 「自分の国、自分の書物から」離れて「わたし自身のうちでも研究する」とはどのようなことか、あなたの考えを自由に書きなさい。(八百字以内)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(デカルト〔著〕、谷川多佳子〔訳〕『方法序説』より)